

平成 22 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ

平成 22 年度論文賞選考委員会 担当理事 川平 和美
委員長 長岡 正範
委員 青柳陽一郎, 伊佐地 隆, 萩原実千代
加賀谷 斎, 鈴木 康司, 橋本 圭司
原 寛美, 原 行弘, 馬庭 壮吉

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり、論文賞選考内規（学会誌 38 卷 211 頁、2001 年）に基づいて、毎年論文賞選考委員会を発足させ、選考作業を行っております。

平成 22 年中の対象論文 20 編（原著 16 編、短報 4 編）に対し、各選考委員がテーマの独創性・重要性、研究・デザイン、データの提示、データの解釈、論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し、採点結果を集計いたしました。平成 23 年 2 月 18 日に論文賞選考委員会を開催し、最優秀論文賞、優秀論文賞および奨励論文賞の各賞を選考しました。選考結果は理事会に報告され、承認を受けた上で、平成 23 年 6 月 3 日の日本リハビリテーション医学会通常総会の場で、理事長から受賞者に賞状ならびに目録が授与されました。受賞論文を下記にご報告いたします。

優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心からお礼申し上げます。公平な選考が行われましたことをご報告いたしますとともに、是非、多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき、リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

◎最優秀論文賞：千田 譲 氏

千田 譲、伊東慶一、濱田健介、小竹伴照、岸本秀雄、祖父江元：脳梗塞病型別にみた回復期リハビリテーション成績の検討—MRI 脳白質病変との関係—. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 559-568

◎優秀論文賞：大熊るり 氏

大熊るり、木下牧子：回復期リハビリテーション病棟における気管切開患者の転帰. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 47-53

◎奨励論文賞：田中貴志 氏

田中貴志、加賀谷斎、横山通夫、才藤栄一、馬場 尊：嚥下造影検査後の早期呼吸器合併症についての検討. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 320-323

◎優秀論文賞次点：木村彰男 氏

木村彰男、安保雅博、川手信行、大迫由佳、陶山和明、前田俊夫、植地泰之、岩崎 甫、BTXA 痙縮治療グループ：A 型ボツリヌス毒素製剤 (Botulinum Toxin Type A) の脳卒中後の下肢痙縮に対する臨床評価—プラセボ対照二重盲検群間比較試験ならびにオープンラベル反復投与試験—. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 626-636. A 型ボツリヌス毒素製剤 (Botulinum Toxin Type A) の脳卒中後の上肢痙縮に対する臨床評価—プラセボ対照二重盲検群間比較試験ならびにオープンラベル反復投与試験—. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 714-727

◎奨励論文賞次点：和田陽介 氏

和田陽介、片桐伯真、佐藤友里、橋本育子、中村智之、藤島一郎：嚥下造影検査後の消化器合併症および消化管内バリウム残留の検討. *Jpn J Rehabil Med* 2010 ; 47 : 801-805